

令和6年第1回鶴田町総合教育会議会議録

1 期 日 令和6年8月7日(水)
開会 午後1時30分
閉会 午後2時00分

2 場 所 鶴田町役場3階301～303委員会室

3 案 件 ①鶴田町教育施策の大綱の改正について
②その他

4 出席者氏名

相川正光町長、山本真規子教育長、竹浪勅佑教育委員、竹浪誠也教育委員、木村繁子教育委員

5 説明のために出席した者の氏名

八木橋成人総務課長、佐々木智寿企画交流課長、一戸泰人教育委員会教育次長、成田圭一総務課行政係長

6 会議内容

(相川正光町長あいさつ)

総合教育会議の開催にあたりまして、一言ごあいさつ申し上げます。

教育委員会委員の皆様には、総合教育会議の開催のご案内をいたしましたところ、ご多用中にもかかわらずご出席を賜りありがとうございます。

さて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により、地方公共団体の長は、その地域の実情に応じ、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めることとされ、これを定め、又は変更しようとするときは、あらかじめ総合教育会議において協議することとされております。

今回は、昨年度策定した第6次鶴田町総合計画に基づき令和元年に策定いたしました「鶴田町教育施策の大綱」の見直しを行うため、協議を行うものでございますが、新たな大綱の策定により町と教育委員会が教育政策の方向性を共有し、それぞれが持つ職務権限を行使することにより、効果的、かつ、着実に教育政策を前に進めて参りたいと考えております。

教育行政は、学校教育から社会教育まで、また、子どもからお年寄りに至るまで、すべての町民に関わる重要な政策課題であります。

今後とも、教育長はじめ教育委員の皆様には、第6次鶴田町総合計画の教育に関する基本方針であります「親も子ものびのびと成長していくまちづくり」にご

尽力いただきますようお願い申し上げて、あいさつとさせていただきます。

①鶴田町教育施策の大綱の改正について

(八木橋成人総務課長、成田圭一行政係長説明)

ただいまの説明について、何かございませんでしょうか。

(竹浪誠也委員)

今回の改正で、大綱のテーマを「健康で郷土を愛する人間性豊かな人づくり」から「親も子ものびのびと成長していくまちづくり」に変えた意図を教えてください。

(一戸泰人教育次長)

大綱案については、主に町の第6次総合計画の中の教育に関して記載している部分から抜粋しております。旧大綱のテーマに関しても第5次総合計画の題名でした。今回のテーマに関しても第6次総合計画の教育で謳っている部分の題名を抜粋したものとなります。

(八木橋成人総務課長)

先ほど、概要のところでも少し触れさせていただきましたが、この教育施策の大綱については、基本的に町の最上位計画である総合計画に基づいて策定しております。今回は、総合計画の教育施策に関する部分に併せて、県の教育施策の大綱についても整合性を図るということで一部加筆をしていますが、基本的には、町の最上位計画である総合計画との整合性を図るというのが大前提であるため、そういった形になっているということでご理解をいただければと思います。

(相川正光町長)

旧大綱のテーマで「郷土を愛する」とありますけれど、今回の大綱の中にも、「地元愛の醸成を目指す」、「郷土に誇りを持つ」等の文言があります。テーマは変えましたが、内容には含まれており、若者の地元定着の為にも郷土愛を育む教育は大事だと思っております。

(竹浪誠也委員)

大綱の内容については、しっかり網羅されていていいと思いました。総合計画の柱が「若い世代から選ばれるまちづくり」と焦点化していて非常に評価できます。青森県に関しては、「こどもまんなか」という言葉でとにかく子どもを大事にしようということをやっているので大綱についても「親も子も」と焦点化していることに関してはすごくいいと感じました。ただ、町には高齢者や子どものいない夫婦、独身者等もいるため、そういった方から「私はどうなんだ」と言われた時に説明ができればいいと思います。

(八木橋成人総務課長)

ありがとうございます。竹浪委員が言われたとおり、親と子以外の方が対象なのかと言われますとそうではないという認識です。

他には、何かありますでしょうか。

よろしければ、教育施策の大綱の改正については協議を終了させていただきます。

②その他

(山本真規子教育長)

8月16日から20日までの期間で、小学生高学年と中学生を対象に下山学園高校の生徒等が勉強を教えるという企画をしたのですが、16日までの締め切りに対して未だ申込者がありません。せっかくの機会なので何人か来て欲しいところですが、今回うまくいかなくてもまた企画していければと思っています。

(八木橋成人総務課長)

地元に来られた下山学園さんとの取り組みということで、いいことなのではないかと思います。貴重な情報提供ありがとうございます。

事務局から、皆様も報道でご存じかと思いますが、青森県知事の宮下さんが鶴田中学校を訪問され、私もお邪魔をさせていただきました。色々なやりとりの中で、よくマスコミ報道されているとおり、鶴田の子どもたちもほかの市町村と同様に、知事が「将来県外に行きたい人」という質問をしましたら大部分の子どもたちが手を上げていました。宮下知事は大学から仙台、その後東京やニューヨークでも仕事をしたということで、これまでの経験をお話されました。世界を変えて行くためにということで、実は青森県も世界の一部であり、自分が仕事をしてきた中で青森県ほどいいところは無かったというお話をされていました。私も人の流出が多い中で少しでも社会人になって青森に残ってくれる子どもや一度青森から出ても帰ってきてくれる子どもが多くなればという思いで聴いていました。終わった後も知事のカリスマ性なのか子どもたちが知事の周りに集まってなかなか離れないでいました。こういう取り組みは少しずつ県民を変えていく力になっていくと感ずき、社会問題化している人口減少の傾斜を緩めることに繋がると思います。町としても教育委員会と一緒にそういう取り組みを出来ていけたらと考えさせられました。すごくいい機会であったと思います。

(山本真規子教育長)

今のことに関連して、校長先生が、知事の話の広げ方が先生方にとって授業方法の参考になったのではと話していました。

(相川正光町長)

知事は座って話しているだけではなく？

(八木橋成人総務課長)

知事は常に動いて話をされていて、子どもたちの輪の中に入って行って、少なくとも子どもたちが眠くなるような状況ではなく、やり方のうまさに関心させられました。

(山本真規子教育長)

良い緊張感がありました。

(八木橋成人総務課長)

他には、何かありますでしょうか。

よろしければ、最後に町長からお願いします。

(相川正光町長)

今日は、大変忙しい中ご出席していただきましてありがとうございました。そして、教育大綱について協議をしていただきましてありがとうございます。この大綱の目指す目標に向かって、我々一生懸命頑張って参りますので教育委員会の皆様もよろしくお願い申し上げます。今日はありがとうございました。

(八木橋成人総務課長)

以上をもちまして、令和6年第1回鶴田町総合教育会議を終了いたします。お疲れ様でした。